

児童のインフルエンザ予防接種費用の 公費助成を求める署名のお願い

出雲市認可保育所(園)保護者会連合会
会長 坂根 壮一郎

毎年12月～3月に流行するインフルエンザは、他の流行病に比べてもはるかに感染力が強く、40度近い発熱をはじめ、全身に症状が現れ、病状が悪化すると脳炎や重症肺炎にも発展し、致命的な危険を招く感染症です。

学校や保育園などが、流行の端緒になることが多く、ほかの家族にも感染し、特に高齢者にとっては、重篤化により、毎年多くの犠牲者が出ています。保護者にとっては、保護者自身が罹患しなくても子どもが罹患することにより最低五日間の登園(校)停止により長期休業を余儀なくされます。休業による保護者自身の社会的、金銭的デメリットは言うに及ばず、子育て世代を雇用する職場の負担も甚大であり、子育て中の親が社会参画しづらくなる要因となっています。

一方、流行の蔓延防止に有効であるインフルエンザの予防ワクチン接種は、高額のため、多くの子育て家庭の家計の負担となっており、十分な接種率に達しない要因となっています。

そこで、子育て世帯のみならず、社会全体に良い効果をもたらすと考え、インフルエンザワクチンの予防接種費用の公費助成を出雲市に求めるべく署名活動を行います。

上記の趣旨にご賛同いただき、是非ともご署名いただきますようお願い申し上げます。

※当会は、出雲市内の認可保育所(園)を利用する保護者による育児環境の改善をはかる目的の会です。

※押印不要 家族の住所は同上で可 未就学児は代筆可

氏名	住所

この署名用紙は、7月1日までにご所属の保育園(所)にご提出願います。